

中央北地区のまちづくり はどうなっているか

課題・問題点は？

市民への影響はどうか



大型開発に対する

日本共産党議員団の立場

- ・市民にとって今必要かどうかを考慮する。
- ・川西市の財政規模に見合ったもの、無理な借金をせず、健全な財政計画のもとで立案し、推進すべきとの考えに基づき賛否の態度を決定しています。
- ・事業をすることによって、市民へのサービスを切り捨てたり、低下させる事業はしてはならないとの立場を堅持しています。
- ・環境の破壊、まちづくりに支障をきたすもの、事業の行き詰まりで新たな公費を投入する恐れのある事業は反対し、できる限り対案を出して対応しています。

進捗状況・裏面の地図を参照してください

仮換地指定が完了

地権者の皆さんがどの土地で、今後仕事をしたり、住宅を建設したりするかが決まりました。

PFI 事業による道路や公園建設を発注

裏面地図中央の南北に建設する「豊川橋山手線」、また「中央公園」「せせらぎ遊歩道」、さらにマンションを建設予定の⑬地域の整地、公園建設と、向こう 10 年間の維持管理事業を含めて「16 億円の協定金額(消費税や金利を含む)」で発注しました。

日本共産党議員団では、通常の事業発注との金額対比、地元企業育成の観点などから質問もし、市民に納得していただける内容にすべく努力してきました。

街区道路、整地事業の発注

地図の①地域の整地と区画道路建設、⑨⑩地域周辺の区画道路と住宅地の整地事業を地元業者に発注しています。

PFI 事業のように工事金額が巨額になれば地元業者は仕事を受けることができません。それを回避するためにも PFI 事業費の 15%は地元業者に、その他事業も地元優先で発注するように求めてきました。それは一定配慮されてきています。

文化会館の建て替えが計画化

耐震強度がない文化会館の補強が必要ですが、中央北地区内で新設することになり、併せてふれあいプラザで活動している、福祉関係の事務所や機能を併設する建物としていきます。40~50 億円かかりますが、市民の命を守ることを優先していく判断です。



よし

くらしの

「由さん」の 便り

2014 年 1 月 324号

川西市議会議員(日本共産党)

住田由之輔 すみだよしのすけ

連絡先・下加茂 1-24-23

ケイタイ 090-9283-6739

市民への情報は住田のブログへ。「由さん」のくらしの便り」または「住田由之輔」で検索